

令和7年度 串間市立本城小学校 学校関係者評価書

※ 評価・・・大変良い 4点 良い 3点 もう少し 2点 改善を要する 1点

評価項目	評価指標	具体的手立て	現状（達成状況および対策） <児、保、教は、それぞれのアンケートの肯定的割合> <×はアンケート未実施>	自己評価	関係者評価	学校関係者評価コメント
1 学力向上	(1)「子どもの学びやすさ」を基盤にした授業改善	①学びに向かう力を育むための授業改善	<児92、保71、教100> 評価基準：年間1人1回の授業公開、児童の自己評価80% 評価基準値を上回った。この結果に満足せず、今後も職員研修（主題研究）を充実させ研鑽を積む。	4	4	<ul style="list-style-type: none"> <li>先生方の意欲を感じます。</li> <li>花を育てるには水をやり続ける必要があります。全ての評価指標に共通するのは教師の指導力。宮日「自分史」に掲載された甲斐先生が赴任先で次々と陸上競技全国大会で優勝・入賞者を輩出した経歴には、教師の力量でこうも違うものかと驚愕を覚えます。へき地夏尾中学で数名しかいない在校生から3年間で2名の全国出場者がでた記事は圧巻でした。なぜこのようなことができるのか、やってやれないことはない見本のようなものです。どうか本城小学校でもダイヤモンド原石を磨きあげ、水をやり続けて、児童の未来に花を咲かせてください。期待しています。</li> <li>児童の自己評価80%を上回る結果は、先生たちの努力の結果だと思います。</li> <li>児童アンケートの結果で見られる通り、意欲的に取り組まれているとみる。少数児童で教師の目の届く利点を生かしてさらなる指導をお願いしたい。</li> <li>素晴らしい取り組みだと思います。</li> </ul>
		②児童が決定・選択する機会の設定	<児72、保64、教100> 評価基準：児童アンケート80% 学校としては、本年度学校ビジョンの一つに掲げ、実践してきた。まずまずの成果は得られているので、今後も継続して指導して行く。	2	3	<ul style="list-style-type: none"> <li>先生方の実践について、まずまずの成果であり2+と評価しました。</li> <li>具体的手立てが少し難解では。難しいですね。本年度の学校ビジョンとして実践し、まずまずの成果が得られているとのことですが、どのような場面で児童が決定・選択し、先生方がどう関わり、どう成果があったのか、数例でも結構ですので、評価書の最終版で記載をお願いします。もちろん、継続して指導してください。</li> <li>児童がもっと向上したいと感じている結果だと思います。</li> <li>児童が決定・選択は伸びる力がつく、よい取組だと思います。</li> <li>新しい取組で難しい点もあると察します。留意点で、選択項目の偏りが気になります。</li> <li>結果から問題点を探すことは、社会人になったら必要な力かと思います。子供たちの目がそこまで行けば頼もしいと思います。</li> </ul>
		③ひなたの学びの実践	<児×、保×、教100> 評価基準：自己評価アンケート80% 全国学力学習状況調査において、ひなたの学びに関する設問のほとんどが80%肯定的な回答であった。1-①と関連し、今後も授業改善に努める。	3	3	<ul style="list-style-type: none"> <li>児童からは、友達や先生に融和の感情がうかがえました。</li> <li>今後の授業改善に「努める」に尽きます。</li> <li>より一層の努力をお願いします。</li> <li>自立心向上の取組として大いに期待します。</li> </ul>
		④複式指導の研究（年1回以上の授業公開）	<児×、保×、教100> 評価基準：年間1回以上の授業公開 串間市一貫教育部会において複式指導の授業に関する実践発表を行ったり、自由進度学習について校内で自主公開授業を行ったりと、研修を充実させることができた。	4	4	<ul style="list-style-type: none"> <li>複式授業に慣れたというか、自然に2学年でも無理なく過ごしているようです。自主公開授業を行うことで自信がついて、勉強も楽しくなっていくといいですね。</li> <li>課題テーマ実現は実践ができています。素晴らしいことです。研修も充実させることができているそうなので、評価は4です。このまま継続して研鑽を。</li> <li>複式指導大変だと思いますが、一層の努力をお願いします。</li> <li>校長先生、教頭先生まで授業を受け持っておられ、複式学級の大変さが伺えます。</li> <li>授業参観で拝見するたびに向上が見られます。先生方は大変でしょうが、よろしくご指導ください。</li> <li>市内でもこれから複式の学校が増えると思うので、先例としてよいことだと思う。</li> <li>複式でありながら遊んでいる子（何もしない子）がいない、授業参観のたびに感心しています。</li> </ul>
		①基本的学習習慣及び家庭学習の定着	<児96、保71、教83> 評価基準：自己評価80% さわやかチェックカードでも自己評価アンケートでも肯定的な回答が昨年度より多くなった。今後も引き続き、啓発を継続させる。	4	4	<ul style="list-style-type: none"> <li>児童と先生の評価が高いのに、保護者はそうでもないのはどんなところなのでしょう。</li> <li>継続は力なり。昨年度も自己評価が100%と高く、本年度もよい傾向です。</li> <li>家庭学習は学校のみでの指導では難しい面があり、保護者共々での指導が肝要と考えます。根気強くお願いします。</li> <li>保護者の評価が71とちょっと低いのが気になります。</li> </ul>

(2) 学ぶ意欲の育成	②読書活動の推進 (月一人平均4冊以上)	<p>&lt;児84、保50、教67&gt;          評価基準：一人当たりの読書量月平均4冊以上</p> <p>昨年度より読書冊数が減少傾向である。デジタルドリルの導入等で、読書にかかる時間が少なくなっていることが原因と考えられる。読書の推進方法、評価基準の見直しが必要である。</p>	3	3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・いろいろな原因があるとのことですが、読書は勉強の基本です。読書推進をお願いしたいです。</li> <li>・平均4冊は無理なのですか。評価基準の見直しより、読書は何か良いことがある、こんなに素晴らしい、こんな本を読もう、等々先にすべきことがあるのでは。</li> <li>・保護者50%と感じているのは、家庭での読書が少ないのではないのでしょうか。</li> <li>・デジタルドリルの導入で読書に向けられる時間が減少傾向にあるのは理解できるが、設定目標に対しての評価で示すべきでは。次年度の目標設定は、本年度の反省を踏まえ立案してほしい。</li> <li>・デジタル化は間違えると反対方向へ向かい、読解力や表現力がなくなるのではないのでしょうか。</li> <li>・子供たちの読書量の低下が心配です。活字を目で追う作業は語彙力を高め思考の幅を広げるので、とても大事です。ぜひ子供たちの読書力が向上するようにしてください。</li> </ul>
	③新聞等メディアへの積極的投稿	<p>&lt;児×、保86、教×&gt;          評価基準：新聞等メディア投稿件数月1回以上</p> <p>本年度の新聞の作文掲載数（1月15日現在）13件。</p>	4	4	<ul style="list-style-type: none"> <li>・いつも積極的な投稿に感心しています。本城小のよい伝統にしていきたいです。</li> <li>・令和5年度は30作品が掲載された。本年度13件、月1回以上の投稿バーは超えています。今後徐々に新聞掲載も増えていくことと思います。「何を訴えるのか」その添削指導に期待します。</li> <li>・新聞に掲載されることで読書や作文が好きになると思います。いつも楽しみにしています(2)。</li> <li>・素晴らしい投稿が多くあり、今後も継続願いたい。</li> <li>・いつも楽しみにしています。大変よいことだと思います。</li> <li>・以前より掲載数は少なくなりましたが、これは他校も取り組みだしたため競争が激しくなったためです。掲載される云々より、書き続けることが大事だと思います。</li> </ul>